

-東北応援ツアーレポート-

テーマ 現地を訪問して思うこと

A)岩手県コース 2016年11月5日(土)~6日(日)

参加者氏名:大石育三

卒業年:1967年 卒業学部:経済学部卒業

昨年参加した福島県コースに引き続き、今年は、岩手県コースに応募しました。お蔭さまで、採択されましたことから、11月5日に東北応援ツアーに参加することが出来ました。

前日は、静岡で仕事があったため、東京に前泊して、朝一番の新幹線で盛岡駅に無事到着できました。しかし、こちらは、冬のような天候でしたので、これからどうなるか気がかりでしたが、遠野市に着く頃は、穏やかな天候となっていました。

今回の一番の見どころは、釜石駅から盛岡駅までの「震災学習列車」に乗ることでした。定刻より4分遅れで13時49分に釜石駅を貸し切り列車として発車しました。この車両は500万バーレルのクウェート国からの支援を受けたとのことでした。今日は、「世界津波の日」であり、三陸駅で一分間の黙祷を捧げることが出来ました。貸し切り列車であることの強みですね。

この駅前には、ポプラの木が津波に耐えて生い茂っていたのが、印象的でした。

大船渡市の陵里駅近くには、国内で最高の津波地点として38.2メートルの記念碑が車内から見る事が出来ました。この地震は、明治29年の明治三陸大地震で、特に綾里湾の奥では入り組んだ谷状の部分を上り越して、本州で観測された津波では最も高い遡上高を記録したようである。

翌日は、陸前高田市のOBである鈴木さんの案内で、奇跡の一本松のある記念館を見学しました。

最後の見学場所は、平成23年に世界遺産に登録された「中尊寺」でした。この地で、記憶が翻ったのは、今から50年以上前に高校の修学旅行のことで、大変懐かしい時間を過ごすことが出来ました。